

- 問1 1874年、明治政府の藩閥政治を批判した板垣退助や後藤象二郎らが政府に提出した、自由民権運動の始まりとされる文書として正しいものはどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)

1. 国民が選んだ議員によって構成される国会の早期開設を求める「民撰議院設立建白書」

2. 土地の所有者に地券を交付し、土地の価格をもとに税を納めさせる「地租改正」

3. 天皇が国民に対して新しい政治の方針を示した「五箇条の御誓文」

4. 武士の特権を廃止し、国民に兵役の義務を課することを定めた「徴兵令」
- 問2 1904年に始まった日露戦争の時期における日本の財政状況について、開戦前の1903年と開戦後の1905年の統計数値を比較した説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)

1. 開戦によって軍事費が約2倍に増加したが、政府が減税政策を実施したことにより、国民の税負担率は18パーセントから15パーセントへと改善した。

2. 軍事費が1500（単位：千万円）台から7300台へと急増し、国民所得に占める税負担の割合も18パーセントから23パーセントへと上昇した。

3. 戦費を賄うために海外からの借金のみを活用したため、国内の軍事支出額は横ばいであり、国民の税負担率に変化は見られなかった。

4. 軍事費は大幅に増加したが、同時に国民所得も飛躍的に向上したため、国民の税負担率は18パーセントから10パーセントへと低下した。
- 問3 日清戦争と日露戦争を比較した統計資料によると、日露戦争では動員兵力、死者数、戦費のすべてが日清戦争時より激増しています。日清戦争の講和条約では約3.1億円の賠償金を得ましたが、日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の結果として、国民の暴動を招く要因となった事実はどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)

1. ロシアに戦争の敗北を認める宣言をした

2. 領土が一切得られなかった

3. 賠償金が全く得られなかった

4. 遼東半島の租借権を失った
- 問4 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の内容が、当時の日本国民に激しい不満を与えた背景として、日清戦争との比較から読み取れる理由は何ですか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)

1. 日清戦争の約6倍に達する8.5万人もの死者を出し、巨額の戦費を投じたにもかかわらず、賠償金が一切得られなかったから。

2. イギリスやアメリカからの借款（借金）を返済するために、日清戦争時よりも高額な賠償金をロシアが支払うと信じられていたから。

3. 日清戦争で得た2億両（テール）を上回る賠償金を得たものの、ロシアに割譲させた領土が少なすぎたから。

4. 戦費は日清戦争と同程度であったが、日本国内の物価が高騰し、賠償金なしでは生活が成り立たなかったから。
- 問5 明治時代以降、日本の美術界では西洋文化の影響を受けながら新たな芸術が模索されました。この時期に活躍した茨城県出身の日本画家、横山大観の説明として正しいものはどれですか。 (2025年 茨城県公立入試 類似)

1. フランスで学んだ印象派の技法を日本に紹介し、西洋画（洋画）の発展に寄与した

2. 西洋画の表現を取り入れながら、近代における日本画の新しい様式を確立した

3. 江戸時代に浮世絵の様式を確立し、見返り美人図などの作品を残した

4. 室町時代に水墨画を大成させ、日本の水墨画独自の画風を完成させた
- 問6 明治時代、自由民権運動が活発になる中で、大隈重信が結成した政党を選択肢から選びなさい。この政党はイギリス風の議院内閣制の導入を主張し、都市部の実業家などから支持を受けたことで知られています。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)

1. 立憲政友会

2. 立憲改進黨

3. 自由党

4. 立憲民政党
- 問7 明治から大正時代にかけて、日本の医学は国際的に高い水準に達しました。この時期に活躍した野口英世の活動の背景と内容について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)

1. 北里柴三郎の門下生として、日露戦争の戦地における衛生環境の改善とペスト予防を主導した。

2. 顕微鏡を用いた細菌学が発展する中、黄熱病の病原体を解明するために南米やアフリカを調査した。

3. 日本国内の伝染病を根絶するため、政府の支援を受けて全国に避病院（隔離病院）を設置した。

4. アメリカの製薬会社と協力し、世界で初めてとなる強力な消毒薬や麻酔薬の大量生産に成功した。
- 問8 1886年に起きたノルマントン号事件では、日本人乗客を見捨てたイギリス人船長に対し、日本の法律で厳しい罰を与えることができませんでした。この背景には、幕末に欧米諸国と結んだ不平等条約において、外国人が日本で犯罪を犯しても日本の裁判所ではなくその国の領事が裁判を行うことが認められていたことがあります。この権利を何といいますか。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)

1. 租借権

2. 関税自主権

3. 永住権

4. 領事裁判権
- 問9 1872年に「学制」が発令された当時の状況や、その後の教育制度の展開について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)

1. 教育の費用はすべて国庫から支出されたため、農村部では就学率が急速に高まり、反対運動は起こらなかった。

2. 武士などの特権階級にのみ高度な教育を施すことを目的としたため、平民の子供は学校に通う必要がないとされた。

3. この法令は戦後のGHQによる教育改革の際に制定されたもので、現在の6・3・3・4制の基礎となった。

4. 「必ず学ばざるの戸なく、家に学ばざるの人なからしめん」という理想を掲げ、すべての子供が小学校に通うことを目指した。
- 問10 1905年に調印されたポーツマス条約の内容に不満を持った人々が、東京で暴動を起こした「日比谷焼打ち事件」の直接的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)

1. ロシアから獲得したリャオトン（遼東）半島を、フランス・ドイツ・ロシアの要求により返還することになったこと

2. 日清戦争の約8倍にあたる18億円以上の戦費を投じ、多くの死傷者を出したにもかかわらず、賠償金が得られなかったこと

3. ポーツマス条約において、日本が樺太（サハリン）の全域を領土とすることが認められなかったこと

4. 日清戦争時よりも少ない戦費で勝利したものの、期待していた韓国（大韓帝国）の保護権が認められなかったこと
- 問11 栃木県に位置する足尾銅山で発生した鉱毒事件に関する記述として、歴史的背景や事象の説明が正しいものはどれか、次の中から選びなさい。 (2023年 奈良県公立入試 類似)

1. 石炭の増産を優先した結果、九州地方の炭鉱周辺で土壤汚染と地盤沈下が深刻化した。

2. 高度経済成長期に、工場から海へ排出されたメチル水銀が魚介類に蓄積したことで発生した。

3. 愛媛県の別子銅山で発生した、製錬時の煙による森林被害や農作物の被害が主な原因であった。

4. 採掘に伴う鉱毒が河川に流入し、下流域で大規模な農作物の被害や健康被害を引き起こした。
- 問12 大日本帝国憲法下の統治体制において、立法権を担う帝国議會を構成していた二つの議院の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 山口県公立入試 類似)

1. 立憲政友会と憲政本党

2. 元老院と衆議院

3. 衆議院と貴族院

4. 衆議院と参議院

答え合わせ・解説

問1	答え 1 国民が選んだ議員によって構成される国会の早期開設を求める「民撰議院設立建白書」	明治初期、薩摩藩や長州藩などの出身者が政治の実権を握る「藩閥政府」に対し、征韓論に敗れて政府を去った板垣退助らは、一部の官僚による専制政治を厳しく批判しました。彼らは、国民が選んだ議員による議会（国会）を早期に開設することを政府に強く求め、この「民撰議院設立建白書」を提出しました。これが、のちに全国的な広がりを見せる自由民権運動の契機となりました。
問2	答え 2 軍事費が1500（単位：千万円）台から7300台へと急増し、国民所得に占める税負担の割合も18パーセントから23パーセントへと上昇した。	日露戦争の開戦に伴い、日本の軍事支出は急激に拡大しました。1903年には1513（単位：千万円）であった軍事費が、1905年には7306にまで跳ね上がり、国家予算の大部分を占めるようになりました。この莫大な戦費を調達するために政府は増税を繰り返し、国民所得に占める税負担率は18パーセントから23パーセントへと上昇しました。このように、日露戦争の継続は国民に対して非常に重い経済的負担を強いるものであったことがわかります。
問3	答え 3 賠償金が全く得られなかった	日露戦争は、日清戦争に比べて戦費や犠牲者が桁違いに多く、当時の国民は重税や家族の喪失という多大な犠牲を払っていました。それにもかかわらず、ポーツマス条約ではロシアから賠償金を得ることができなかったため、期待を裏切られたと感じた国民の不満が爆発し、日比谷焼打ち事件などの暴動へと発展しました。
問4	答え 1 日清戦争の約6倍に達する8.5万人もの死者を出し、巨額の戦費を投じたにもかかわらず、賠償金が一切得られなかったから。	日清戦争では約2億円の戦費に対し、当時の国家予算の数倍にあたる2億両（約3.1億円）の賠償金を得ることができました。一方、日露戦争では戦費が約18.7億円（日清戦争の約9倍）に膨れ上がり、死者数も約8.5万人（日清戦争の約6倍）と激増していました。国民はこれほどの大きな犠牲を払った以上、当然日清戦争の時のような多額の賠償金が得られると期待していましたが、実際には1円も得られなかったことが、講和への強い反発を招く直接的な背景となりました。
問5	答え 2 西洋画の表現を取り入れながら、近代における日本画の新しい様式を確立した	横山大観は、急速に西洋化が進む時代背景の中で、伝統的な日本画に光の表現や空間構成といった西洋画の要素を大胆に取り入れ、独自の「朦朧体（もうろうたい）」などの技法を編み出しました。これは単なる伝統の維持ではなく、時代の変化に応じた新しい「日本画」の創造を目指したものでした。
問6	答え 2 立憲改進黨	1881年の「明治十四年の政変」によって政府を去った大隈重信が、翌1882年に結成した政党です。板垣退助が結成した自由党がフランス流の急進的な民主主義を掲げ、農村部の地主層を主な支持基盤としたのに対し、立憲改進黨はイギリス流の穏健な立憲政治を理想とし、都市部の知識人や実業家から支持されました。
問7	答え 2 顕微鏡を用いた細菌学が発展する中、黄熱病の病原体を解明するために南米やアフリカを調査した。	19世紀末から20世紀初頭にかけては、コッホやパスツールらによって近代細菌学が確立され、病原体を特定する研究が世界中で盛んに行われていました。野口英世はこの流れの中で、当時まだ原因が不明確だった黄熱病などの研究に取り組みました。彼は自ら危険な地域である中南米やアフリカの現地に赴き、現地の医療発展にも貢献しましたが、最終的にはアフリカのガーナで自らも黄熱病に感染して亡くなりました。
問8	答え 4 領事裁判権	日本に滞在する外国人が事件を起こした際、日本の法律ではなく、その国の法律と領事によって裁判が行われる権利を領事裁判権（治外法権）と呼びます。明治政府はこの権利の撤廃を最優先課題の一つとして掲げ、法典の整備や近代化を進めることで、1894年の陸奥宗光による日英通商航海条約調印において、ついにその廃止に成功しました。
問9	答え 4 「必ず学ばざるの戸なく、家に学ばざるの人なからしめん」という理想を掲げ、すべての子供が小学校に通うことを目指した。	明治政府は近代化を進めるため、国民一人ひとりが教育を受けることを重視しました。しかし、当時の学制では授業料を各家庭が負担する必要があったことや、子供が貴重な労働力として期待されていたことから、生活が苦しい農民たちの間では、学校の打ちこわしなどの反対運動が起こることもありました。就学率が90%を超えるようになるのは、その後の明治時代後半になってからのことです。
問10	答え 2 日清戦争の約8倍にあたる18億円以上の戦費を投じ、多くの死傷者を出したにもかかわらず、賠償金が得られなかったこと	日露戦争では、戦費が約18億2600万円（日清戦争の約2億3000万円の約8倍）、死傷者数が約8万5000人（日清戦争の約1万3000人の約6.5倍）と、日清戦争を遥かに上回る多大な犠牲を払いました。重い増税に耐えてきた国民は、講和条約によって多額の賠償金が得られると期待していましたが、ポーツマス条約で賠償金が得られないことが判明したため、その不満が暴動へと発展しました。
問11	答え 4 採掘に伴う鉱毒が河川に流入し、下流域で大規模な農作物の被害や健康被害を引き起こした。	足尾銅山鉱毒事件は、渡良瀬川の下流域である栃木県や群馬県などで深刻な被害をもたらしました。当時、日本は近代化を急いでおり、産業の発展を優先するあまり環境対策が疎かにされたことが背景にあります。選択肢にある別子銅山は煙害、メチル水銀は水俣病に関する記述であり、足尾銅山とは被害の形態や発生時期が異なります。
問12	答え 3 衆議院と貴族院	大日本帝国憲法下の帝国議会は二院制を採用しており、選挙によって選出された議員で構成される衆議院と、皇族・華族・勅任議員（天皇から任命された者）などで構成される貴族院の二つが置かれました。現在の国会を構成する「参議院」は、戦後の日本国憲法において貴族院に代わって設置されたものです。